

脳の視交叉上核という小さな部位が、24時間周期の体内リズムを生み出しています。視交叉上核の特別な神経細胞群が、リズムを乱す外乱に抵抗性を持つため、結果として時差ボケを起こしてしまうことがわかってきました。

# Lecture series

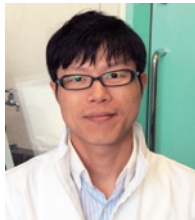
- 研究の最先端 -

no.151



さまざまな分野の研究をリードする京大の研究者たち。研究のおもしろさや可能性を館長が聞き出します。ご一緒に、研究の世界へ。中高生も大歓迎です。

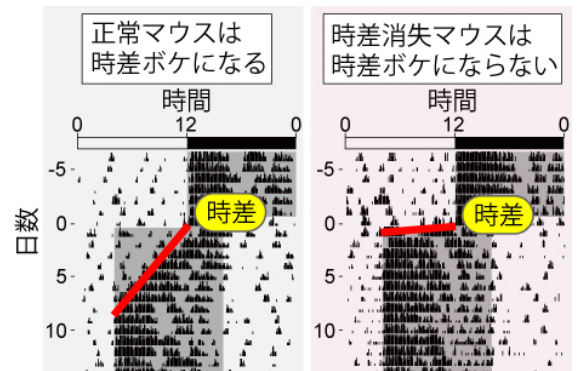
## なぜ時差ボケになるのか？ —時計細胞の解析による時差症状改善法—



山口 賀章  
薬学研究科 講師

2018.11.10 sat.  
10:30 ~ 12:00

昼夜といった時間の手がかりがなくとも、私たちは自身が持っている体内時計により、規則正しく生活することができます。時差ボケは、この体内時計が乱れることにより生じますが、改善する手立てはあるのでしょうか？



場 所：ミュージアム・ラボ（博物館1階 自然史展示室内）  
申し込み：不要です。直接博物館へお越しください。  
参加費：無料です。ただし、博物館への入館料は必要です。  
一般 400 円 / 高校生・大学生 300 円 / 小学生・中学生 200 円  
※20 名以上の場合は団体観覧料を適用  
※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方 1 人、70 歳以上の方は無料（要証明）

（上）視交叉上核の顕微鏡写真  
（右下）マウス行動図

問い合わせ：〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL (075)753-3272 FAX (075)753-3277  
E-mail : info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp  
URL : http://www.museum.kyoto-u.ac.jp

後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会

※開催時間が今年は昨年と違って  
午前 10 時 30 分開始ですのでご注意ください。

